

広報 よしだ 11

2011 No.628

熱き思い

特集 ● 受け継がれる



Proud!
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

特集

受け継がれる 熱き思い

私たちの命と財産、町の安全・安心を守り続ける吉田町消防団一。
 火災はもちろんのこと、台風や大雨などの風水害、そして地震、消防団が必要とされる事態は数多くあります。地域に住み、地域を知り尽くしている消防団員たちだからこそ、私たちのまちの安全・安心が守られていると言っても過言ではありません。
 しかし今、消防団の人員は年々減少の一途をたどっています。少子高齢化など社会情勢の変化や「厳しい」という消防団のイメージの悪さなど理由はさまざま。
 このような中でも団員たちは「まちを守る」という不屈の消防精神のもとで日々消防団活動を続けています。本号では消防団に関わる人たちにスポットをあて、その思いを語っていただきます。

霜月

C O N T E N T S

特集	
受け継がれる 熱き思い	03
しずおか市町対抗駅伝 がんばれ！吉田町チーム	10
まちからのお知らせ	12
保健だより	19
まちのわだい	20
情報ボックス	22
としょかんだより	26
給食メニュー、人の動き ほか	27
かがやく笑顔 Happy Birthday (ハッピーバースデー)	28



表紙写真

▲パパと同じ消防団の法被を着て放水のポーズをする右から浅井陽翔君(小1)と遥翔君(4つ) 7ページに関連記事

11

2011 No.628





history

消防団の今と昔



本業をもちながらも「自らの地域は自らで守る」という精神で地域の安全と安心を守り続ける吉田町消防団の団員たち。そこには歴史や伝統そして先人たちの崇高な郷土愛護の精神が今に受け継がれています。ここでは消防団の歴史や現状について触れてみます。

消防団の歴史

消防団の歴史は、江戸時代中期までさかのぼります。八代將軍吉宗が江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町組織としての火消組である「火消」を編成替えし、町火消「いろは四八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。

吉田町消防団の歴史は、「吉田町消防団沿革誌」によると公設吉田村消防組として組織されていた昭和14年、勅令により「警防団令」が発令され、「吉田村警防団」と改組されました。これは戦時中の空襲などの危機から国民を救うため、警察と消防の補助として任務が課せられた組織でした。しかし、終戦とともにその意義が薄くなり警防団は廃止に。昭和22年には「消防団令」が発令され、防災体制の強化を目的とした「消防団」に移行されました。翌23年には、消防組織法が施行。吉田村警防団は解散となり、吉田村消防団として再出発となりました。昭和24年には、町制施行に伴い現在の吉田町消防団となりました。



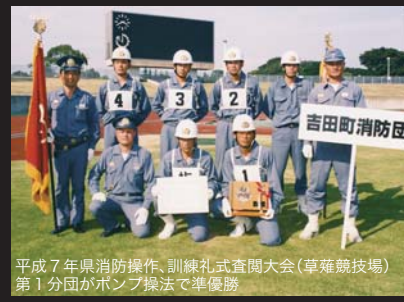
器材の操作方法など指導する防災訓練



規律や技術を競い合う消防操法大会



火災予報を呼び掛ける街頭立哨



平成7年県消防操法、訓練礼式査閲大会(草薙競技場) 第1分団がポンプ操法で準優勝



昭和51年出初め式(吉田中学校)



昭和41年県ポンプ操法、規律訓練査閲大会(草薙競技場) 第1分団がポンプ操法で第3位に入賞

吉田町消防団組織図と団員数

町長 吉田町消防団
平成23年4月1日
現在団員総数159人
※定員は210人

- 本部 (41人)**
団長(1)、副団長(3)、専任本部長(1)、本部長(14)、機能別団員(22)
- 第1分団 (48人)**
分団長(1)、副分団長(1)、部長(4)、班長(9)、団員(33)
- 第2分団 (32人)**
分団長(1)、副分団長(1)、部長(2)、班長(7)、団員(21)
- 第3分団 (9人)**
分団長(1)、副分団長(1)、部長(1)、班長(3)、団員(3)
- 第4分団 (29人)**
分団長(1)、副分団長(1)、部長(4)、班長(6)、団員(17)



吉田町消防団員数の推移

※平成23年の団員数は機能別団員数を除く

ました。当時の消防団は、第一分団、第五分団の5つの分団で構成されていましたが、昭和39年に四分団と五分団が統合され、住吉が第一分団、川尻が第二分団、片岡が第三分団、北区が第四分団として組織され、現在に至っています。現在の消防団員たちはその歴史と伝統を守り続け、先人たちの思いを受け継いで日々活動しているのです。

消防団の活動

消防団の仕事は主に有事と平時に分けられます。まず有事では、火災や風水害、地震などの災害が発生したときに活動します。先日の台風15号のとき、いち早く出動し、倒木などの現場へ駆けつけたのが地元にいる消防団員たちでした。災害時では、救助活動の中心として町域の防災力の向上など地元を知り尽くした消防団員だからこそできることがたくさんあります。平時ではこれからの時期、火の用心を消防車で呼び掛けながら町内を巡回する夜警活動

動。そのほか、消火栓の点検や防災訓練時の自主防災会をはじめとする地域住民への指導、有事に備えての訓練、操法大会に向けての訓練など地域の安全・安心を保持するための活動をしています。

悩む団員不足

現在、吉田町消防団の定員数は210人。団員数は159人であり、人員不足は顕著に表れています。少子高齢化による若手の不足や地域社会、住民意識の変化など理由はさまざま。ここ10年を見ても減少傾向にあり、団員不足に歯止めが掛からず、深刻な問題となっています。

近年、集中豪雨など水害の件数も増えるとともに予想される東海地震などの大規模災害では、消防署や警察など公的機関だけでは対応が困難になる恐れも出てきます。団員の減少は地域防災力の低下につながり、私たちの安全・安心な生活に大きく影響を及ぼすこととなります。消防団を消滅させてしまうことだけはあってはならないのです。



「消防団の活動中、近所の人から『豊屋さんの息子でしょ。あらんたも入ったんだね』と声を掛けられたこともありまして」と話すのは、第一分団所属の野中崇智さん(29)。豊店を営む野中家は、崇智さんの祖父、誠治さん(90)が分団長、父の繁利さん(62)が消防団のトップにあたる「団長」まで務めた消防団一家です。今回、三代目となる崇智さんに消防団の思いを語っていただきました。

父親の存在

父が団長を務めていた当時(1995年)、県の消防操法大会に初めて家族で応援に行きました。団長としての父の姿がすごく印象的で、「一番偉いんだ」と誇らしく思った記憶があります。火事があるとすぐに現場へ出掛ける父の姿も覚えていますが、先輩たちからは「お前のお父さんは団長までやって凄いなぞ」と言われたりしましたが、自分も入団して改めて団長まで務めた父の凄さを実感しました。

家族の理解

6年前、消防団の誘いがあったとき、父は「やれ」とは言い

受け継がれる消防団魂

親子三代にわたり消防団員として地域に貢献する野中一家
祖父から父、そして崇智さんに消防団魂が受け継がれている

ませんでした。「自分がやりたければやれば良い」と消防団の厳しさも知っていたからこそ強制しなかつたと思います。迷う私は、母親に相談すると「自分にとつてプラスになる」と後押しされました。入団を決心した私は、その旨を祖父に伝えると祖父は快く賛成し、笑顔で喜んでくれました。今では、夜中の火事でサイレンがなると父が部屋に飛び込んできて「火事だぞ。行ってこい」などと私にげきを飛ばしてきます。

消防団活動

大雨のとき、土のうを持って行ったお宅で「ありがとう」と感謝されたときは本当にうれしかったです。やってよかつたと思いました。

地震や大雨などの災害が必要とされるのが消防団だと思っ



のなか・たかとも
1982(昭和57年)生まれ。2005年に消防団に入団、第1分団に配属。野中製量店の三代目。家族は両親と妹、祖父母の6人家族。趣味は野球。住吉在住。29歳

機能別団員が地域を支える



機能別団員 八木 弘一さん

団員として25年、機能別団員を5年と30年間消防団に携わる。息子真那斗さんも消防団員として活躍。八木産業(株)役員。大幡在住。52歳

機能別団員とは、ある特定の活動のみに参加する団員で、当町では団員不足を解消するため、2006年度から豊富な経験のあるOB団員にお願いをしています。一度消防団を引退してもまた地域のために活動する機能別団員たち。今回はその中の一人、八木弘一さん(52)に話を聞きました。

地域とのつながりが大切

自分のこれまでの経験を生かし、地域防災の要として地元で貢献できることであれば協力していきたいと思っております。防災は、地域のつながりが大切。消防団やお祭りなどに参加して先輩、後輩など仲間とのつながりをもつことも必要ではないでしょうか。

「自分の地域は自分で守る」という意識が一番大事だと思っています。

消防団の経験は自分の宝

私は消防団に25年間在籍して自分のためになったと感じています。それは火災で火を消していくことはもちろんですが、通常ではできないことも体験できますし、何より幅広い世代の人たちと交流することでも知り合いが増えることです。この経験が自分の宝となることに間違いありません。活動している中でやりがいを感じていくはず。今後は、各地区に点在する消防団経験者を中心に地域の防災リーダーとして防災体制の充実を目指していきたいです。

家族の理解が団員を支える



第3分団 浅井 誠さんのご家族
写真右から誠さん(会社員)、実紀さん(主婦)、長男陽翔君(小1)、次男遥翔君(4つ)。片岡在住。

1999年に入団した第三分団の浅井誠さん(32)は、結婚する以前から消防団に在籍していました。誠さんは、結婚後も活動を続けられ、家族に感謝しています。今回はその消防団員の夫を支える妻の実紀(33)さんに話を聞きました。

消防団活動を続ける夫を応援

第三分団は団員数が少ない分、夜警など夫の負担も大きいかと思います。家族のイベントで家にいてほしいときもありません。しかし、消防団活動を頑張る夫を支える立場としては、応援していきたいです。子供たちも消防車を運転しているパパを見て「カッコいい」と言っています。すっ

かり子供たちのヒーローです。消防団員としてのパパももちろん応援しています。

消防団員だから安心

消防団員が家にいることで「安心だ」と思えることもあります。万が一、家で火災が発生した場合でも慌てないで消してもらえれば、災害では、どう行動したらよいかある程度の知識をもっているからです。また防災に関する情報も早いことも安心の一つですね。第三分団では、年齢や階級など関係なしに家族ぐるみで仲良くしてもらい、楽しいこともあります。少しでも地域のために頑張る消防団に目を向けて、第三分団に仲間が増えようと思います。

地元から尊敬される消防団に



求める！新生消防団員



まとい会長 みずの としき 智示さん
第9代消防団長(1981~83年)。消防団は1959年から24年間務めた。現在も消防団をバックアップする「まとい会」会長を務める。製造業「末広」経営。住吉在住。75歳

消防団の伝統を守ることや消防団活動の発展に協力することを目的とした元消防団幹部らで構成される「まとい会」。現在会長を務める水野智示さん(75)に当時の消防団の様子や今後の消防団について話を聞きました。

消防団は尊敬される存在
当時、消防団に誘われたときは迷わず入団しました。「消防団に入って一人前」そのような気風もありましたし、何より仲間に入れてもらうことがすごくうれしかったです。当時の消防団は地元から信頼され、尊敬される存在でした。昔は地域を守るといって住民の意識が非常に強く地域を守る消防団に対し「ごくろう

さん」とよく言われていたことを覚えています。

時代の変化
戦後は物事や思想など目まぐるしく変わる時代でした。それに伴って消防団の活動も急激に変わり苦労する面もありました。今でも時代の変化から団員確保など我々の時代のやり方では通用しない面も当然あります。しかし、いつの時代も変わらないことだつてあります。人とのつながりの大切さや命の重さ、それはいつの時代でも変わりません。災害時では消防団が地域にとって必要な存在となつてきました。OBとしては、しっかりとバックアップして消防団を守っていきたいと思います。

消防団員は町の宝者

寒くなり空気が乾燥するこれからの季節、「カーン、カーン」と消防団の温かい鐘の音のメッセージが聞こえてきます。消防団員たちは「自らの地域は自らで守る」という不屈の精神で私たちの命、財産を守るために訓練や夜警など日々活動しているのです。本業をもちながらも活動を続ける団員たちに私たちは敬意を払い、感謝の気持ちを忘れてはいけません。地震や火災、風水害などの災害が発生したとき、地域の全てを知る消防団が頼りになることは間違いないはず。消防団を存続させていくためには、地域一人一人の支えが必要なのです。

特集 受け継がれる熱き思い (完)



消防団長 やぶた しょうじ 省次さん

1984年に町消防団へ入団。2010年から消防団の総括となる団長に就任。農業。大幡在住。49歳

若い世代につながる消防団を

我々消防団員の役目は地域防災の要として、住民の生命・財産を守ることにあります。非常に重要な役目であり、重責ですが、消防団員として地元のために活躍できる喜びは、何ものにも代えがたいものがあります。

吉田町消防団には、諸先輩方がその時その時に必死で守ってきた歴史と伝統があります。

ここ数年、団員確保に非常に苦労していますが、震災があった今だからこそ、消防団によせる地域の期待

も大きいはず。その期待に応えられる消防団を築き、若い世代につながるのが団長としての私の責務と感じています。地域のためになくてはならないこの吉田町消防団を守っていきます。

消防団をバックアップしませんか 「消防団協力事業所表示制度」

消防団協力事業所表示制度とは

認定基準

- 現在、本町では団員のおよそ8割が被雇用者です。このような状況で消防団の活性化を図るには、入団しやすく、活動しやすい環境の整備が求められています。
- この制度は、消防団活動に協力的な事業所などに「表示証」を交付することで、事業所の協力を通じて地域防災体制がより一層充実されることを目的としたものです。
- 認定を受けた事業所は「表示証」を敷地、建物などに表示できるほか、パンフレット、ホームページなどに掲載することで事業所のイメージアップにもつながります。吉田町消防団へのバックアップと地域の安全・安心を守るためにご協力をお願いします。
- なお、認定基準は下記の通り。
- ・従業員が消防団員として一人以上入団していること
 - ・従業員の消防団活動について積極的に配慮していること
 - ・災害時などに事業所の資機材などを消防団に提供するなど協力をしていること
 - ・従業員による機能別消防分団などを設置していること
 - ・消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与していること
- ※「消防関係法令」に違反していると認められるときは、認定できません。

問い合わせ

総務課 地域安全部門
☎33-2134



▲消防団協力の認定事業所に交付される表示証。(大きさは縦30㌢、横21㌢、素材はプラスチック製)事業所の敷地、建物などに表示できるほか、パンフレットやチラシ、ホームページなどに掲載することができる

選手団紹介 (敬称略)



ユニフォームカラー
「濃紺」
ゼッケンナンバー
「37」

名誉監督 坂本 國雄 (大幡) 監督 堀之内 大 (川尻)
コーチ 中島 克訓 (住吉) コーチ 岸端 篤 (住吉)
コーチ 八木千津子 (川尻) コーチ 田村 和彦 (住吉)



北嶋 駿希
住吉小6年 (住吉)
悔いを残さぬよう、
力いっぱい走ります。



田口 滉太
中央小6年 (片岡)
全力で頑張ります。



井上 英
中央小6年 (片岡)
代表としての誇りを持ち、
楽しみながら走りたい。



河原崎 茉友
中央小6年 (川尻)
自分の力を全部出し切
って、全力で走ります。



山崎 大輔
吉田中3年 (神戸)
自分の走りをしてチ
ームに貢献します。



大石 悠介
吉田中2年 (神戸)
チームに貢献できるよ
う頑張ります。



野中 彩羽
吉田中3年 (住吉)
一生懸命頑張ります！



松浦 佳南
吉田中3年 (住吉)
力いっぱい走り、チ
ームに貢献します！



座間 彩乃
吉田中2年 (川尻)
ベストを尽くし、吉田
町のために頑張ります。



三輪 北斗
藤枝明誠高3年 (神戸)
吉田町を優勝へ導いた
ります！



田辺 良磨
島田高2年 (片岡)
頑張って走りたいと思
います。



野中 翔太
島田高校2年 (住吉)
チームに貢献できるよ
う精一杯頑張ります。



寺内 彩
秦野高2年 (神奈川県)
吉田町のために力い
っぱい走ります。



西尾 知佳
吉田高1年 (神戸)
チームに貢献できるよ
うに頑張ります。



三輪 晋大朗
東京農業大2年 (住吉)
吉田町のために全力で
走ります。



横山 友敬
専修大4年 (住吉)
チームが入賞できるよ
う貢献したい！



長谷川 奈津子
聖ルカホーム (片岡)
チーム力に貢献します。



三輪 千晃
千葉大4年 (住吉)
学生生活最後の駅伝な
ので全力で頑張ります。



徳保 淳二
富士フィルム (片岡)
全力でタスキをつな
ぎます。



山西 雄一
山西製作所 (住吉)
走れることに感謝。
最後まで激走するぞ！



がんばれ！ 吉田町チーム

しずおか市町対抗駅伝 12月3日 10:00 START

区 間	選手区分	距 離
第1区	ジュニアA女子	3.974km
第2区	小学生男子	1.848km
第3区	小学生女子	1.469km
第4区	一般女子	3.549km
第5区	ジュニアA男子	6.061km
第6区	40歳以上	4.340km
第7区	中学生男子	3.760km
第8区	中学生女子	3.020km
第9区	ジュニアB女子	4.670km
第10区	ジュニアB男子	4.310km
第11区	一般男子	5.194km

※ジュニアAは高校生の区間、ジュニアBは中学生または高校生の区間です。

今年で12回目を迎える「静岡県市町対抗駅伝競走大会」は、12月3日に静岡市内で開催されます。昨年、過去最高タイム2時間24分5秒を記録した吉田町チーム。「町の部」では第6位入賞と好成績を残しました。今年も町の代表として出場する選手たちは、ふるさとの思いをタスキに込めて、県庁前から草薙陸上競技場までの全11区間42・195kmを力走します。

これに先立ち、町実行委員会は10月9日、中央公民館で結団式を開き、大会での健闘を固く誓いました。式には選手やスタッフ、保護者など約20人が出席。町体育協会長の三輪美由紀実行委員長は「選手たちに期待しています」と



▲「第12回しずおか市町対抗駅伝」の結団式で健闘を誓う選手や実行委員ら (10月9日、中央公民館で)

※放送のご案内 ■SBSテレビ9：30～12：50 ■SBSラジオ9：40～13：00

「子ども手当」が変わりました

中学生以下対象

法改正により、10月から「子ども手当」の内容が変わりました。9月まで「子ども手当」を受給していた人も、10月以降の「子ども手当」を受給するためには、新たに申請が必要です。9月まで受給していた人には、すでに10月上旬に案内通知を送付しましたが、「子ども手当」を受給していなかった保護者や案内通知が届いていない場合など不明な点は担当までお問い合わせください。

法改正で変更した点は

支給要件など

- 子供が日本国内に居住していること（留学中の場合を除く）
- 児童養護施設に入所している子供については、施設の設置者などに支給
- 未成年後見人や父母指定者（父母などが海外に住んでいる場合）に対しても父母同様に支給
- 両親が離婚調停中の場合は、子供と同居している人が優先
- 「子ども手当」から保育料を直接徴収することができ、また同意した人については学校給食費などを直接徴収することができる

手当の月額

時間	9月まで	10月から
支給対象	中学校修了前まで	中学校修了前まで
手当額	一律 13,000円	3歳未満 一律15,000円
		3歳以上小学校修了前 第1子・第2子 10,000円 第3子以降 15,000円
		中学生 一律10,000円

申請について

中学校修了前までの子供を養育している人、全て申請が必要となります。平成23年10月1日時点で受給資格がある人は、平成24年3月31日までに申請した場合、10月から手当を受け取ることができます。10月以降に子供が生まれた場合や他の市区町村に住所が変更

下水道の事業認可区域（整備予定区域）片岡地区の一部が加わりました

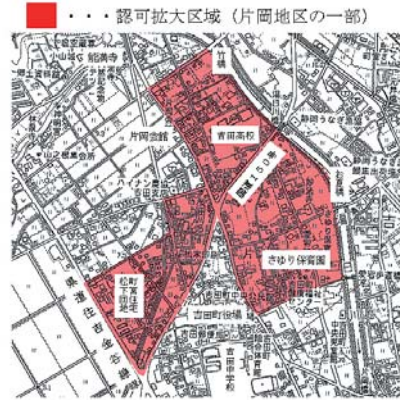
町では、快適な生活環境を確保し、公共用水域の保全を図るため下水道の整備を推進しています。新たに、今年度から下水道整備を行う区域に片岡地区の一部（面積41畝、赤色部分）が加わりました。今後、下水道計画の下流域区域から順次工事に着手する予定です。なお、工事着手前には該当地区の皆さんを対象に説明会（工事の概要、排水設備、受益者負担金、使用料など）を実施します。※日程などのご案内は、該当者へ直接郵送で通知します。

受益者負担金とは

下水道は道路や公園など誰でも利用できる施設と異なり、整備された区域の人のみに利用が限られる施設です。負担の公平性の観点から、下水道整備によって恩恵や利益を受ける土地所有者などに、下水道工事費の一部を負担していただいているものが「受益者負担金」です。

受益者負担金の額は

所有する土地の面積1平方メートルあたり320円です。対象となる土



地に対して一度だけ負担していただきます。

宅地を1000坪（330・58㎡）所有している場合
↓納付していただく金額は、
330・58㎡×320円
＝10万5480円

なお、一括納付の場合は報奨金（割引）制度の適用もあります。詳しくは、下水道課までお問い合わせください。

問い合わせ

下水道課（吉田浄化センター内）
☎33-11100



わった場合などは、3月までに申請しても手当をさかのぼって受け取ることはできません。出生日、転出予定日などの翌日から15日以内に申請が必要です。※公務員は勤務先で申請してください。

提出書類

- ▼「子ども手当認定請求書」
- ▼申請者（保護者）の健康保険証のコピー（国民健康保険の場合は不要）
- ▼子供と別居している場合は、申請書と子供の住民票謄本
- ▼外国人の場合は申請者の外国人カードのコピー、子供のパスポートのコピー

問い合わせ

社会福祉課 児童福祉部門
☎33-21153

鈴木副町長が任期満了で退任

10月16日の任期満了に伴い、鈴木正之副町長（66）が退任しました。鈴木副町長は、藤枝市出身で1964（昭和39）年に大蔵省（現財務省）へ入省。大臣官房秘書課や理財局国庫課国庫調査官、日本鉄道建設公団経理部長などを歴任。2003（平成15）年10月から本町の助役、2007年から副町長として町政の発展に尽力されました。10月14日に役場町民ホールで行われた退任式では、田村町長が「8年間、町のことを考え、満身の力でこの町の改革に取り組んでくれた。心から感謝している」とはなむけの言葉を話し、鈴木副町長は「毎日の努力が町民のため、組織のため、自分のためにつながり。感慨を持って仕事に立ち向かってほしい」と退任のあいさつをしました。



▲退任式で職員（役場互助会）から花束を受け取る鈴木副町長（10月14日、町民ホール）

平成24年度の「母子寡婦福祉資金貸付」について

貸付対象者 母子家庭
資金の内容
①就学支度資金
就学するに際して直接必要とする被服、履物などの購入費などにあてるために貸し付ける資金。入学時に1回限り貸し付けます。
②修学資金
高等学校、大学などで修学するために直接必要な授業料、書籍代、交通費などにあてるために貸し付ける資金。修学期間中、毎月末日に継続的に貸し付けます。

申請書最終締め切り
①就学支度資金
平成24年1月24日（火）（必着）
②修学資金
平成24年2月22日（水）（必着）
※「就学支度資金」と「修学資金」を重複して申請することができません。その場合は、同時に面接を実施しますので平成24年1月24日が最終締め切りとなります。

問い合わせ

社会福祉課 児童福祉部門
☎33-21153

「ストップ子供虐待」～あなたの気づきが子供を守る～

11月は児童虐待防止推進月間
疑いを抱えたら迷わず相談を
▼いつも叱りつける声と泣き声が聞こえる
▼子供に不自然なあざやケガがある
▼夜遅くまで遊んでいたり、家に帰りがたらない
▼子供を虐待から守るための5カ条
①「おかしい」と感じたら迷わず連絡（通告）
②「しつけのつもり…」は言い訳（子供の立場で判断）

③一人を抱え込まない（あなたにできることから即実行）
④親の立場より子供の立場（子どもの命が優先）
⑤虐待はあなたの周りでも起こりうる（特別なことではない）
問い合わせ
• 中央児童相談所（24時間対応）
☎054-281-4199
• 社会福祉課 児童福祉部門
☎33-21153
※夜間、閉庁時には☎33-1111代へご連絡ください。



防災行政ラジオ 全世帯に無償配布します

町では東日本大震災の教訓を踏まえ、地域住民に対する情報手段の充実、強化を図ることを目的に地震や大雨など災害時に防災行政無線が受信できる「防災行政ラジオ」を希望する全世帯に無償配布します。

防災行政ラジオとは

①吉田町防災行政無線(同報無線)を受信する簡易型の個別受信機。AM・FMラジオを受信していた場合でも災害情報などの同報無線が入れば自動的に切り替わります。

②コミュニティ放送「FM島田(76.5MHz)」を活用した防災・災害ネットワーク「大井川流域smileネット」の整備を進めており、今年度末まで役場庁舎屋上に吉田中継局を設置します。これにより災害支援情報をはじめ、通常時には大井川流域のコミュニティ情報などが受信できるようになります。

配布対象

町内全世帯(1世帯につき1台)

配布方法

- 自治会加入者
各隣組に「希望調査票」を配布しておりますが、受け取りについては自治会・町内会を通じて12月から配布を予定しています。
- 自治会未加入者
希望する場合は、役場3階の総務課地域安全部門でお申し込みの上、受領してください。なお、受け渡しは12月からとなります。

その他

町外へ転出する場合でも返却する必要はありません。
※防災行政無線の周波数を吉田町に設定してありますので、転出先の防災行政無線を受信することはできません。

製品仕様

- サイズ: 200×87×96(ミリ)
- 重量: 約480g
- ライト(白色LED)付き
- 2電源方式(ACアダプター・乾電池)

問い合わせ

総務課 地域安全部門
☎33-2134



▲配布前に自治会役員や自主防災会長を対象とした説明会。田村町長は「防災に対する整備を逐次進めていきたい」とあいさつ(10月14日)



東日本大震災義援金 受付期間を延長

日本赤十字社吉田町分区分区では、9月末日までに団体98件・個人99件から総額674万5878円の義援金を受け付けました。多くの皆さまから温かいご支援をいただき厚くお礼申し上げます。義援金は、日本赤十字社静岡県支部を通じて同本部へ送金されました。なお、義援金の受け付けにつきましては、9月30日までとしていましたが、甚大な被災状況から義援金の申し出が多数寄せられているため受付期間を延長することとしました。
引き続き、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

受付場所

①保健センター(8:15~17:00)
※土、日、祝日除く

②役場 会計課(8:15~17:00)
※土、祝日および日曜開庁実施

日の12:00~13:00を除く

受付期間

平成24年3月30日(金)まで

問い合わせ

健康づくり課(保健センター)
☎32-7000

地域で子供を育む体制づくり ボランティアを募集します

町内の全4地区(住吉区・川尻区・片岡区・北区)では「地域の子供は地域で育む」を合い言葉に地域教育推進協議会を立ち上げ、さまざまな活動を展開しています。各地区の協議会では、子供と一緒に楽しく活動しながら、お手伝いをしていただくボランティアを募集しています。11~12月の活動を紹介しますので、ボランティアとして参加していただき、ぜひご協力をお願いします。見学のみの参加でも構いません。



▲ボランティアさんが子供たちと一緒に活動する様子

片岡きらめき塾

●門松の材料切り出しのお手伝い

日時 12月18日(日)

9:00~12:00

場所 片岡会館(※雨天中止)

ミニ門松づくり

日時 12月23日(金)・祝

9:00~12:00

場所 総合体育館

自彊わくわく教室

●クリスマス飾りづくり

日時 11月26日(土)

14:00~16:30

場所 自彊館

問い合わせ

教育委員会事務局
☎33-2152

- 門松の材料切り出しのお手伝い
日時 12月18日(日)
9:00~12:00
場所 住吉会館(※雨天中止)
- ミニ門松づくり
日時 12月23日(金)・祝
13:00~16:00
場所 総合体育館
- クリスマス飾りづくり
日時 12月10日(土)
14:00~16:30
場所 川尻会館

ふれあい講演会



脚本家 田淵 久美子氏

演題 自分らしく輝いて生きるために

平成24年1月8日(開場14:00) 14:30~16:00
学習ホール

主催 吉田町・吉田町教育委員会・中部電力株式会社

profile
たぶち・くみこ
1959年島根県生まれ。85年脚本家としてデビュー。主なテレビドラマ作品に『勝利の女神』『ニュースの女』『殴る女』『彼女たちの結婚』『定年ゴジラ』『女神の恋』など。NHK連続テレビ小説『さくら』では橋田壽賀子賞受賞。2008年のNHK大河ドラマ『篤姫』は空前の大ヒット。篤姫の生き方指南『女の道は一本道』(小学館)も話題に。現在放送中の、NHK大河ドラマ第50作目にあたる『江〜姫たちの戦国〜』の原作・脚本も手がける。

TICKET ペア180組を無料でご招待

申込方法

●郵便はがき…郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・性別を明記のうえ、下記宛先までご応募ください。(12/5必着)

〒422-8799 日本郵便静岡南支店留「吉田町中部電力ふれあい講演会」係

●応募箱…中央公民館にある応募用紙に必要事項明記の上、応募箱にご投函してください。

●中部電力ホームページ

http://www.chuden.co.jp内「イベント情報一覧」にて必要事項を入力の上、お申込みください。

申込締切 12月5日(月)
※6歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

問い合わせ・教育委員会事務局
☎33-2152
●中部電力静岡支店 広報グループ
☎054-273-9004

世帯増加率で吉田町が県内第1位

国勢調査の結果をお知らせします



平成22年10月1日を基準日とした国勢調査の確定値が10月26日、総務省から発表され、吉田町の人口は2万9815人と前回調査（平成17年）に比べ、1167人増加しました。

当町の人口増加率は、県内で2番目に高い4.1%（表1）。世帯数は1万2553世帯と、前回調査から1087世帯増加し、世帯増加率では11.9%と県内で最も高い結果となりました（表2）。

また、65歳以上が人口に占める割合（高齢化率）では、県内で5番目に低く20.5%。15歳未満の人口（年少人口）の割合は15.3%と5番目に高い結果となりました（表3）。

県全体の人口は376万5007人と前回調査に比べ、2万7370人（△0.7%）減少し、県内35市町のうち、25市町の人口が減少しました。

大正9年に国勢調査が始まってから、吉田町の人口と世帯数は調査を行うごとに増加しています。

（表1）

増加数（人）		増加率（%）		減少数（人）		減少率（%）					
1	御殿場市	3,054	1	長泉町	5.3	1	静岡市	7,126	1	川根本町	10.2
2	長泉町	2,047	2	吉田町	4.1	2	沼津市	5,701	2	西伊豆町	8.7
3	袋井市	1,855	3	御殿場市	3.6	3	浜松市	3,166	3	東伊豆町	7.3
4	裾野市	1,484	4	裾野市	2.8	4	伊豆市	2,425	4	伊豆市	6.6
5	吉田町	1,167	5	袋井市	2.2	5	磐田市	2,274	5	下田市	5.8

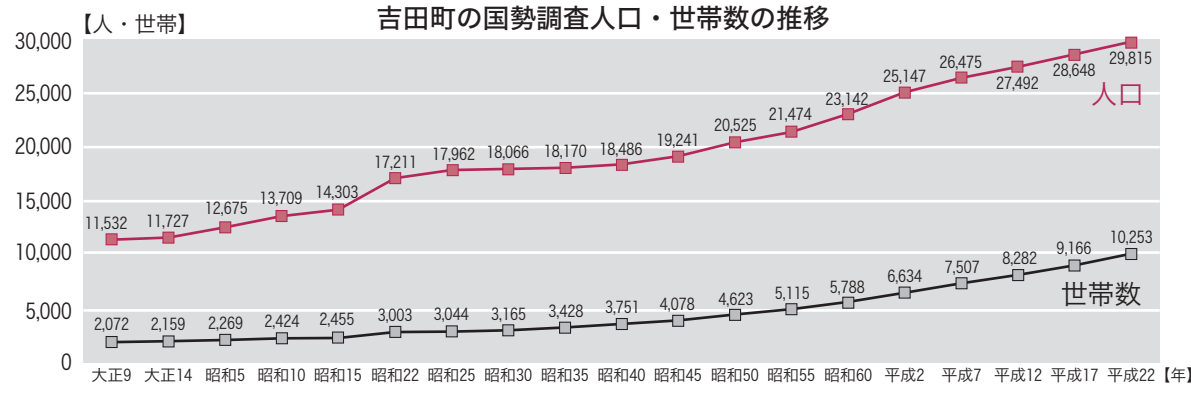
（表2）

増加数（世帯）		増加率（%）		減少数（世帯）		減少率（%）					
1	浜松市	10,923	1	吉田町	11.9	1	西伊豆町	174	1	西伊豆町	4.1
2	静岡市	7,735	2	長泉町	8.0	2	伊豆市	153	2	川根本町	2.3
3	富士市	4,077	3	裾野市	7.8	3	下田市	123	3	小山町	1.6
4	富士宮市	2,836	4	御殿場市	6.7	4	小山町	105	4	伊豆市	1.2
5	藤枝市	2,524	5	富士宮市	6.4	5	川根本町	71	5	下田市	1.1

（表3）

年齢	人口（人）	人口に占める割合（%）	備考
15歳未満	4,492	15.3	県内で5番目に高い割合
15歳～64歳	18,779	64.2	県内で6番目に高い割合
65歳以上	5,993	20.5	県内で5番目に低い割合

※年齢不詳：551人



吉田榛原学校給食共同調理場 放射性物質サンプル検査を実施

吉田榛原学校給食共同調理場では、東京電力福島第一原発事故を受けて心配される食の安全を確認するために、11月から毎月一回、調理した学校給食の放射性物質検査を実施します。

現在、当共同調理場が提供している給食については、国の食品に対する検査体制やこれに基づく出荷制限などの措置、さらに県の環境放射線検査測定値などの動向を注視し、これらの状況を総合的に判断して安全であると解釈しています。

しかし、一部には不安を感じている保護者もいることから給食が安全であることを提示するため、調査結果は事後となりますが給食のサンプル検査とその公表を実施していきます。検査方法など詳細は次の通りです。

開始時期 11月
実施回数 毎月1回
公表方法 吉田町牧之原市広域施設組合 ホームページ (<http://www.yoshida-makinohara-kouiki.jp>)にて公表

実施方法

- ① 調理された給食1食分すべてをミキサーにかけ、これを専門検査機関にてゲルマニウム半導体検出器による検査（放射性ヨウ素および放射性セシウムのBq/kg値を検出）を行います。その後、検査結果の値を公表します。
 - ② 当共同調理場は一日2献立であるため両献立を検査します。
 - ③ 同時に給食で使用している食材の産地を1カ月ごと公表します。
- ③ 国の暫定規制値を上回る高い数値が出た場合は、その日使用した各食材を保存しておき、再度食材ごとに検査した上で必要な措置をとります。

なお今後、給食に関する状況が変化した場合は、検査方式を見直すこととします。

※給食1食分を検査する理由
 児童生徒が実際に食べた物の値を求めするため

問い合わせ
 吉田榛原学校給食共同調理場 庶務係
 ☎3211750

住吉富士見土地区画整理事業区域 宅地を分譲しています

住吉富士見土地区画整理組合では、区画整理事業によって造成された土地「1区画」を販売します。

お気軽にお問い合わせください。

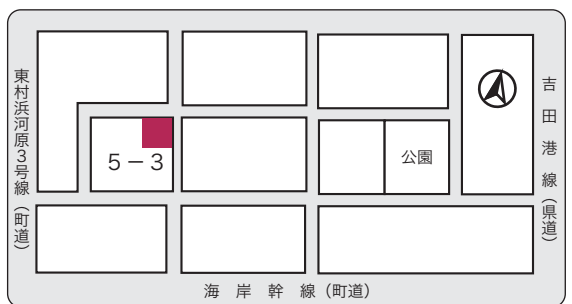
- 所在地**
住吉字 浜河原
- 用途上の制限**
用途 第一種住居地域
- 用 途
 - 建ぺい率 60%
 - 容積率 200%
 - 高さ制限 10m
- 供給施設**
 ● 上下水道 公営
 ● ガス 集中プロパン

申し込み・問い合わせ
 吉田町住吉富士見土地区画整理組合事務局（都市建設課 土地区画整理部門内）
 ☎3312138

※申し込みは直接、事務局の窓口で受け付けます。

分譲地の価格

街区番号	面積		価格（円）	坪単価（円）
	m ²	坪		
5-3	220.48	66.69	5,498,000	82,450



周辺案内図





最優秀賞 八木 克磨 (中央小6年)

町防犯ポスターコンクール 入賞作品8点を表彰

町内の自治会や小中学校、各種団体などで構成する「町防犯まちづくり推進協議会」(三輪昌光会長)は10月12日、防犯ポスターコンクール表彰式を役場町民ホールで開きました。児童生徒の防犯意識の向上や盗難被害の未然防止を図ることが目的。コンクールには、町内小中学校から空き巣や自転車盗など防犯対策をテーマとした71点の応募があり、9月に委員が審査しました。その中から最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作4点を決定しました。今後、協議会では入賞した8作品を使って防犯ポスターを作製し、啓発活動を行っていきます。入賞した作品は次の通り。(敬称略)



▲田村町長から表彰状を受け取る最優秀賞の八木君

優秀賞



大石 愛梨 (中央小6年)



大滝 由希也 (吉田中3年)



桑山 麻由 (吉田中2年)

佳作



増田 衣里 (住吉小6年)



山本 莞大 (自彊小5年)

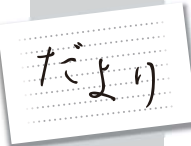


岸端 由乃 (吉田中2年)



増田 麗 (住吉小6年)

保健



生活習慣病の予防 〜運動〜

最近、運動不足だと感じる人はいませんか? 多くの人は運動不足が健康に悪いことを意識していますが、実際に運動習慣がある人は多くないのではないのでしょうか。運動不足は内臓脂肪を蓄積させ肥満となり、やがては生活習慣病へとつながっていきます。また、骨や筋力が弱くなり、転倒しやすくなります。

そこで、今月は生活習慣病予防や健康づくりのための運動について紹介します。

まずは日常生活の中で運動を

現代の日本人は、車や電化製品の発展により、日常生活の中で体を動かすことが少なくなってしまう。一日の歩数は10年前に比べると900歩ほど減少しているとも言われています。

そこで、運動習慣がない人は、まず日常生活の中で体を動かしていくことをお勧めします。▽エレベーターやエスカレーターの代わりに階段を利用する▽通勤や近場への買い物などは

車を使わず徒歩や自転車を利用する▽家事をするときはこまめに動く▽など普段の生活の中で簡単にできるものから始めてみましょう。

運動習慣が体にもたらす効果

運動すれば筋肉が増え、基礎代謝が高まってエネルギーを消費しやすくなります。筋肉の量は年齢を重ねると減っていきませんが、運動を続けていけば筋肉の量は減らず、場合によっては増やすことができます。身体機能が活性化することにより糖や脂肪の代謝が活発

になり、内臓脂肪が減少していきます。また、骨や足腰の衰えを防ぐことができます。

運動の種類

運動にはさまざまな種類があります。生活に取り入れたい運動は次の3つです。それぞれの特徴を理解し、自分に適した運動を見つけ、継続していきましょう。

① ストレッチ

筋肉を柔らかくし、血流を良くする効果があります。筋肉がほぐれるため、腰痛や肩こり軽減につながります。無理はせず、気持ち良く感じるところで伸ばすようにします。

② 有酸素運動

ウォーキング、水泳、エアロビクスなどの有酸素運動は、内臓脂肪を燃やして

すくするため、生活習慣病の予防やメタボリックシンドローム改善に適しています。

③ 筋力トレーニング

筋肉の量を増やし、基礎代謝を高める効果があります。スクワットやダンベルマシンを使った運動などが代表的です。筋力が向上すると転びにくくなり、転倒による骨折を防ぐことができます。

内臓脂肪減少には運動と食事改善を

内臓脂肪蓄積の指標となる腹囲1cm減少は、約1kgの体重減少に相当します。体重を1kg減少させるためには、7000kcalの消費が必要になります。一カ月に腹囲を1cm、体重を1kg減少させるためには、一日当たり230kcalの消費が必要になります。適度

80キロカロリーを消費するには

歩行(通勤)	男性17分	女性22分
掃除機をかける	男性19分	女性25分
風呂掃除	男性18分	女性23分
草むしり	男性17分	女性22分
自転車(16.1km/時未満)	男性17分	女性22分
ウォーキング(107m/分)	男性13分	女性17分

問い合わせ

健康づくり課 (保健センター) 番32-17000



▲インストラクターの君塚正道さんから正しい歩き方のコツを学ぶ参加者

健康は正しい歩き方から

県内各地で繰り広げられるスポーツイベント「しずおかスポーツフェスティバル」(県体育協会などが主催)の一つ、ウォーキング教室が10月22日、総合体育館で開催されました。町内外から約80人が参加し、ウォーキングインストラクターの君塚正道さんから正しい歩き方を学びました。君塚さんはウォーキングのコツとして「上半身の腕振り、下半身の着地、おなか周りのひねりなど3つのバランスが重要」と実践を交えながら説明。また「3日で効果が出るわけではない。長い目で続けてほしい」などとアドバイスをしました。

住吉区交通安全パレード 住民400人行進で呼び掛け

住吉区交通安全会は10月2日、秋の全国交通安全運動に合わせ「交通安全パレード」を同区内で実施し、自治会役員や地域住民、PTAなど約400人が参加しました。出発式で岩崎梅二会長は「住吉区から悲惨な交通事故がなくなるようPRしましょう」とあいさつ。パレードは、住吉小4年生103人で行く鼓笛隊を先頭に、参加者が「飲酒運転を根絶しよう」や「防げ! 追突事故」などのスローガンを書いたのぼり旗を掲げ、小学校周辺約3.7kmを1時間かけて、地域住民やドライバーらに交通安全を呼び掛けました。



▲鼓笛隊の軽快な音楽を先頭に地域住民やドライバーに交通安全を呼び掛ける参加者



▲昔ながらの餅つきを楽しみながら力を合わせてつく1年生と6年生の児童

収穫の喜び 住民と味わう

自彊小学校(浅井一彦校長)は10月15日、学校田で育てた餅米の収穫を地域住民らと祝う伝統行事「里人こぞる」を同校で開催しました。全校児童333人が2学年ずつに分かれ、餅つきなどを体験。1・6年のグループでは、重いきねを上級生が下級生の手を添えながら餅をついたり、ついた餅をその場で保護者らと一緒に丸め、きな粉餅やあんこ餅にして味を堪能しながら交流を深めました。6年生の松浦波里さんは「今日はみんなと仲良くお餅をついたり、食べたりして楽しかった。これも地域の皆さんのおかげです」と感謝の言葉を述べました。

恒久平和への誓いを新たに 吉田町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が10月5日、総合体育館で営まれました。遺族や町関係者など約250人が参列し、恒久平和への誓いを新たにしました。式典では、田村町長が「町の発展のため町民の皆さまと共に力を合わせて取り組むことを誓います」と式辞を述べ、一人一人が戦没者512柱の慰霊碑に向かって献花し、戦没者の冥福を祈りました。遺族代表の松浦太一朗さん(住吉)は、東日本大震災のことにも触れ「英霊の尊い精神に思いを致し、深く感謝の誠を捧げ、私たちは力を合わせて乗り越えていかなければなりません」と慰霊の言葉を述べました。



▲戦没者の冥福を祈り、512柱の慰霊碑に向かって献花する参列者

日 芸能祭・文化展 日ごろの学習成果を表現

町文化協会(増田恵美子会長)と教育委員会共催の「吉田町芸能祭」が10月22日、学習ホールで開催されました。ステージでは、各小学校の児童による合唱や町内で活動するサークル、グループによるコーラス、民舞、空手、詩吟など37演目が披露されました。この日が晴れ舞台となった出演者らは緊張した面持ちの中、日ごろの学習の成果を力いっぱい表現し、会場からは、その熱演に惜しめない拍手が送られていました。また、10月29日、30日の両日には「吉田町文化展」が総合体育館で開かれました。町内の児童や生徒、協会会員などが制作した絵画、盆栽、書道などの力作約1,200点が展示され、来場者の目を楽しませていました。町文化協会の増田会長は「東日本大震災で被災した東北の皆さんが『頑張ろう東北』を合い言葉に絆を深めているように、私たちが負けないように前へ進んでいきたい」と話していました。



▲詩吟で日ごろの成果を発表する出演者(学習ホール)

▲会員らの自慢の作品がずらり展示された文化展(総合体育館)



▲力強い和太鼓演奏を披露する「手をつなぐ育成会」の人たち
▶ゲームを楽しむ子供ら(中央児童館)
▼多くの人でにぎわう「ふれあい広場」



笑 ふれあい広場・児童館まつり 顔溢れる楽しいひととき

10月23日に健康福祉センター「はあとふる」で「第29回ふれあい広場」が、隣接する中央児童館では「第31回児童館まつり」が開催されました。

ふれあい広場(同実行委員会主催)は、10月4日曜日の「町民福祉の日」に合わせて、交流する中で福祉について理解を深めてもらおうと毎年実施されているもので、今年は「ふれあって・くらす・しあわせ吉田町」をテーマに福祉関係団体やボランティアグループなど44団体が参加しました。会場には手芸品やバザー、焼き芋などを販売する店舗などが軒を連ね、地域住民とふれあいながら交流を深めました。

また、地域住民と交流を深めようと開催された「児童館まつり」では、スリッパをワニに仕立て叩くゲームやプラスチックの工作体験、人形劇などが繰り広げられ、訪れた親子連れなどは遊びながら楽しいひとときを過ごしました。

案内 最新号「文集よしだ」中央公民館で販売中

町文化協会では「文集よしだ(第16号)」を発行しました。最新号では「子どもの頃のなつかしい遊び」を集めました。そのほか、心温まる投稿作品を多数掲載しています。
定価 500円
問合先 町文化協会(中央公民館内) ☎32-3121

案内 町外で町の成人式に出席する人は連絡を

該当者 町外に住所がある人で町主催の成人式(1月8日)に出席を希望する人(平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ)。
連絡事項 ①成人者氏名②性別③生年月日④保護者氏名、住所⑤電話番号
連絡期限 12月1日(木)
問合先 教育委員会事務局 ☎33-2152

募集 町営住宅入居者と入居待機者の募集をします

住宅概要 松原団地 昭和51年度建設 1戸
所在地 川尻3138-5
間取り 3DK(4.5・4.5・6)
家賃 11,900円～23,500円(平成23年度)
 ※収入などに応じて決まります。
対象 次の条件をすべて満たしている人
 ・住宅に困っている人
 ・同居する親族のいる人(松原団地に限り60歳以上などの単身者も可)
 ・収入が基準以下の人
 ・市町村税の滞納のない人
 ・町内在住または在勤の人
 ・確実な連帯保証人のある人
 ・暴力団員でないこと
応募期間 11月14日(月)～25日(金)
 ※応募者多数の場合、抽選会を行います。
応募・問合先 都市建設課 土木管理部門 ☎33-2137

募集 吉田町駅伝大会の参加チームを募集

日時 平成24年1月15日(日) 開会式 8:15
競技開始 ショートコース 9:15
 ロングコース 10:10
 ※雨天中止、ただし小雨決行
集場所 吉田中学校グラウンド
参加資格 町内在住・在勤・在学者を含むチーム(監督1人、選手5人、補員2人)
コース 吉田町内
参加料 1チーム2,000円
 ※小・中・高校生チームは無料
申込期間 11月24日(木)～12月22日(木)
申込先 中央公民館(参加料を添えてお申し込みください)
問合先 教育委員会事務局 ☎33-2152



案内 情報満載 2012年版「県民手帳」を販売中

今年は、県民手帳発行60周年を記念して豪華賞品が抽選で100人に当たるプレゼントキャンペーンを実施しています。購入を希望する人は、代金を添えてお申し込みください。
大型判 金額/600円(税込) サイズ/14.5cm×9cm 表紙/チョコ色
小型判 金額/500円(税込) サイズ/12cm×7.3cm 表紙/チョコ色
販売場所 役場3階 企画課 8:15～17:00 ※土・日・祝日除く
販売期限 平成24年1月27日(金)
問合先 企画課 企画調整部門 ☎33-2135

案内 今回は障害のある皆さんが主役です

地域生活を考えるシンポジウム
 障害のある皆さん、夢は何ですか?どんな街になったらいいなと思っていますか?気軽に発言してみませんか?
日時 12月17日(土)13:30～16:30
場所 牧之原市総合福祉センター「さざんか」
内容 当事者が語る地域の暮らしなどの紹介、北海道浦河町「べてるの家」視察報告
問合先 あつまリーナ(生活支援センターやまばと) ☎34-2122(宮澤)

案内 初心者大歓迎「なぎなた合同研修会」を開催

日時 12月17日(土) 9:00～12:00
会場 総合体育館
内容 なぎなたの基礎
問合先 教育委員会事務局 ☎33-2152

案内 富士山静岡空港で朝市を開催します

県と空港周辺市町が協働で「空港ティーガーデンシティ朝市」を開催。当日は新鮮な野菜や水産加工品などを販売します。
日時 11月19日(土)、20日(日) 10:00～14:00
 ※小雨決行、雨天の場合は11月26日(土)に延期
場所 富士山静岡空港臨時バス駐車場(空港ターミナルビル西側)
 ※詳細は、富士山静岡空港のホームページをご覧ください。
問合先 県空港利用政策課 ☎054-221-3355

案内 歯周疾患検診を受けてむし歯と歯周病予防を

町では、下記の対象者を無料で歯周疾患検診を実施します。
対象者 平成23年4月2日から平成24年4月1日までに30、35、40、50、60、70歳になる人
実施期限 11月30日(木)まで
 ※対象者には事前に受診券を送付しています。
問合先 健康づくり課 ☎32-7000

募集 家族や自分のために「高齢者福祉講座」

開催日 12/2(金)・1/20(金) 2/10(金)・3/2(金)
時間 19:00～20:30
場所 はあとふる 会議室
内容 認知症の人への接し方や介護方法など
対象 町内在住・在勤者
参加費 無料
定員 20人(先着順)
申込方法 地域包括支援センターに電話でお申し込みください。
問合先 地域包括支援センター ☎33-2323

募集 「ちいさな理科館講座」の受講者を募集します

12月の講座

開催日	講座名
4日(日)	やさしいおもちゃを作ろう
10日(土)	冬と理科のつながり
11日(日)	化石の発掘を体験しよう
17日(土) 18日(日)	れんげで水飲み鳥を作ろう
24日(土)	光の性質

時間 13:30～15:00
対象 小学生以上
場所 ちいさな理科館
参加費 100円
申込方法 ①希望講座名②学校名・クラス③氏名④住所・電話番号⑤保護者氏名を電話でお知らせください。
受付時間 10:00～12:00・13:00～17:00(木・金・祝日を除く)
問合先 ちいさな理科館 ☎34-5533

案内 「大人のためのサイエンス」を開催します

日時 12月3日(土)13:30～15:00
場所 ちいさな理科館
内容 野菜のデンプン
対象 どなたでも参加できます
参加費 100円
申込方法 ①氏名②住所③電話番号を電話でお知らせください。
問合先 ちいさな理科館 ☎34-5533

案内 藤枝特別支援学校高等部作業発表会

開催日時 12月17日(土)10:10～11:40
場所 藤枝特別支援学校(藤枝市前島2281-1)
内容 生徒が製作した作業製品(陶芸、木工、工芸、縫製、ビーズクラフト、紙工など)の展示販売
問合先 藤枝特別支援学校高等部 ☎054-636-1894

子どもの相談室	知的障害者相談	精神障害者家族相談	すくすく広場
毎週 火・水・金曜日 8:30～12:00、13:00～16:30 役場 5階 教育相談室 相談のある方は、事前にご連絡ください。 問合先 教育委員会事務局 ☎33-2151	12月6日(火)13:30～16:00 場所 障害者自立支援施設(あつまリーナ) 相談のある方は、ご予約ください。 問合先 相談員 芝 ☎32-3065 あつまリーナ ☎34-2000	12月21日(水)13:30～15:30 場所 障害者自立支援施設(あつまリーナ) 相談のある方は、ご予約ください。 問合先 相談員 曾根 ☎32-1779 あつまリーナ ☎34-2000	12月16日(金)10:30～11:30 場所 中央児童館 内容 クリスマス会をしよう 持ち物 お茶、タオルなど 対象者 就園前の親子・自由参加 問合先 中央児童館 ☎32-3401
心配ごと相談	電話相談(苦情等)窓口	無料法律相談	日曜開庁実施日
12月14日(水)・21日(水) 13:30～16:00 健康福祉センター(はあとふる)1階相談室 問合先 社会福祉協議会 ☎34-1800	行政に対する相談や苦情は町の行政経営指導員が対応します。 受付時間 8:15～17:00(土・日・祝日を除く) ☎33-3117(直通)	12月16日(金)13:00～15:00 役場 2階 会議室 相談のある方は、あらかじめご予約ください。 問合先 総務課 ☎33-2131	12月11日(日)・18日(日)・25日(日) 開庁時間 8:15～12:00 13:00～17:00 ※4日(日)は「地域防災訓練」のため実施しません 問合先 総務課 ☎33-2132
建物の無料相談	消費生活相談	一般廃棄物最終処分場(エポ池)休日搬入日	清掃センター・リサイクルセンター休日搬入日
12月4日(日)・11日(日)・25日(日) 時間 10:00～12:00 中央公民館1階 ロビー 法律・耐震補強など建築全般 ※事前にご連絡ください 問合先 都市建設課 ☎33-2161	相談は、随時受け付けています。 ※事前にご連絡ください 問合先 産業課 ☎33-2122	12月4日(日)・11日(日)・18日(日)・25日(日) 搬入時間 13:00～15:30 問合先 町民課 ☎33-2102	12月3日(土)・11日(日)・17日(土)・25日(日) 土曜日 8:30～12:00 日曜日 8:30～12:00 13:00～15:00 問合先 清掃センター ☎24-0530

健診相談のご案内

内容	対象	期日	受付時間
赤ちゃん健康相談	乳幼児希望者	12月16日(金)	9:30~11:00
1歳児健康相談	平成22年12月生	12月9日(金)	9:30~10:30
1歳6カ月児健診	平成22年5月生	12月9日(金)	13:00~14:00
3歳児健診	平成20年11月生	12月14日(水)	13:00~14:00
2歳児歯科相談	平成21年12月生	12月13日(火)	9:30~10:30
2歳6カ月児歯科相談	平成21年6月生	12月13日(火)	13:00~14:00
3歳6カ月児歯科相談	平成20年6月生	12月13日(火)	14:30~15:30
パパ・ママ教室Ⅲ 12月16日(金) 18:30~20:30 産後の日常生活、赤ちゃんとお風呂、赤ちゃんの抱き方についてのお話など	母子健康手帳交付 毎週月曜日 8:15~16:45	肝炎ウイルス相談・検査、エイズ検査、骨髄ドナー登録受付 問合先 中部保健所(予約制) ☎054-644-9273	
はじめての絵本教室 12月6日(火) ①10:00~②10:40~ 対象:生後5カ月から誕生日前日までのお子さまと保護者 ※対象者には案内通知をします 対象期間中、絵本を1冊プレゼント	町民健康相談 12月5日(月)9:30~11:00 運動不足の人、タバコをやめたい人、体調が気になる人、肥満傾向の人など 保健師・栄養士が個別相談に応じます。お気軽にお越しください。		

問合先 健康づくり課(保健センター) ☎32-7000



次回の楽市
12月11日
9:00~
能満寺山公園駐車場
新鮮な野菜や地場産品の販売、フリーマーケットもあります。

県営吉田公園情報
申し込み・問い合わせはNPO法人しずかちゃん事務局まで☎33-1420

12月の園芸ミニ講座
園内の植物管理作業にボランティア参加していただきながら、園芸植物に関する豆知識について学ぶミニ講座です。
日時 12月10日(土)9:00~
※雨天室内
会場 吉田公園内 ヒーリングコア
内容 庭木の剪定について
参加料 無料(事前の申し込みも必要ありません)
持ち物 軍手、剪定はさみ

12月の休診日当番医

- 4日 さかい耳鼻咽喉科医院 ☎34-1818
 - 11日 藤本クリニック ☎24-1200
 - 18日 はいばら泌尿器科クリニック ☎28-0887
 - 23日 いしだ眼科 ☎34-1400
 - 25日 千内科クリニック ☎34-1001
 - 29日 さかい耳鼻咽喉科医院 ☎34-1818
 - 30日 藤本クリニック ☎24-1200
 - 31日 はいばら泌尿器科クリニック ☎28-0887
- 診療時間 9:00~17:00
※受診する場合は、当番医に電話してから受診してください。

案内 「男性トランポウオーク教室」を開催します

開催日 11月16日(水)
12月7・14・21日(水)
時間 13:30~14:30
会場 総合体育館2階剣道場
問合先 健康づくり課 ☎32-7000

案内 正しい歩き方で健康にウォーキング教室開催

足の負担をかけず、適度な運動で、脂肪燃焼できる「トランポウオーク」。ぜひ参加してみませんか。
開催日時 12月16日(金) 13:30~15:00
場所 住吉会館婦人教室
持ち物 運動できる靴、飲料水、室内シューズ、タオル
※参加希望者は直接会場へ
問合先 健康づくり課 ☎32-7000

案内 体を動かして健康づくりをしませんか?

どなたでも参加できますので、お誘い合わせてお越しください。

	ダンス練習会			ハッスル体操
会場	片岡会館	吉田中体育館第2アリーナ	吉田中体育館第1アリーナ	総合体育館2階柔道場
時間	10:00~11:30	19:30~21:00	19:30~21:00	19:30~21:00
11月	28日(月)	21日(月)	18日(金)	15日(火)・22日(火)
12月	12日(月)	—	—	—

※都合により会場・日程が変更する場合がありますので、ご了承ください。(運動のできる服装・室内シューズを持参してください。)

問合先 健康づくり課 ☎32-7000

案内 「青色申告決算等説明会」を開催します

開催日	時間	主な内容	会場
12月1日(水)	10:00~12:00	営業所得	島田市金谷生きがいセンター 「夢づくり会館」 2階学習の部屋 (島田市島550-2)
	13:30~15:30	農業所得	
12月2日(木)	10:00~12:00	農業所得	
	13:30~15:30	営業所得	

※説明資料は、当日会場でお渡しします。

問合先 島田税務署 ☎0547-37-3121(音声案内)

入札結果

入札結果を公表します

予定価格・落札価格は消費税込み

平成23年10月7日執行 制限付き一般競争入札

- ◆第5水源電気室新設工事
入札参加資格業者 2社
落札業者 平井工業(株)
予定価格 48,405,000円
落札価格 47,775,000円
落札率 98.70%
- ◆(主)焼津榛原線外1路線 舗装復旧工事
入札参加資格業者 8社
落札業者 大石建設(株)
予定価格 12,180,000円
落札価格 9,292,500円
落札率 76.29%

平成23年10月21日執行 指名競争入札

- ◆公共下水道施設実施設計業務委託
指名 8社

- 落札業者 (株)フジヤマ
予定価格 16,905,000円
落札価格 15,540,000円
落札率 91.93%
- ◆吉田漁港6号岸壁調査測量設計業務委託
指名 8社
落札業者 日本海洋調査(株)
予定価格 10,920,000円
落札価格 10,395,000円
落札率 95.19%

平成23年10月25日執行 抽選型指名競争入札

- ◆大窪川改修工事
入札参加 10社
落札業者 (株)大場組
予定価格 29,799,000円
落札価格 24,780,000円
落札率 83.16%
- ◆大幡川幹線道路改良工事
入札参加 10社

- 落札業者 (株)兼祥
予定価格 17,860,500円
落札価格 14,574,000円
落札率 81.60%
- ◆榛南幹線改良工事
入札参加 10社
落札業者 たむら建設(株)
予定価格 14,931,000円
落札価格 12,148,500円
落札率 81.36%
- ◆川尻南部汚水幹線工事(第5工区)
入札参加 10社
落札業者 (有)高橋組
予定価格 14,017,500円
落札価格 11,193,000円
落札率 79.85%
- ◆東名川尻幹線外2路線配水管布設替工事
入札参加 10社
落札業者 (株)廣川組
予定価格 15,414,000円

- 落札価格 13,156,500円
落札率 85.35%
- ◆川尻前田3号線外1路線 配水管布設替工事
入札参加 10社
落札業者 (有)松浦管工
予定価格 5,565,000円
落札価格 4,704,000円
落札率 84.53%
- ◆大幡川幹線配水管布設工事
入札参加 10社
落札業者 鈴木電気(株)
予定価格 3,370,500円
落札価格 2,845,500円
落札率 84.42%
- ◆愛宕前2号線配水管布設工事
入札参加 10社
落札業者 (株)廣川組
予定価格 3,160,500円
落札価格 3,097,500円
落札率 98.01%

※入札結果は町のホームページ(<http://www.town.yoshida.shizuoka.jp>)でご覧いただけます。

問合先 総務課 契約管理部門 ☎33-2133



Tosyokan dayori

としょかんだより

Vol.168

「マイページ」から簡単に図書館利用

図書館のホームページや携帯サイトから気軽に図書館を利用していただけます。



▲図書館ホームページのマイページ認証画面から便利な自分だけのページへ飛ぶことができます

マイページを利用しよう

図書館ホームページ、携帯サイト、また館内利用者用検索端末の『マイページ』からは次のことができます。
●貸出期間延期手続き
●延期は1度だけ、延長期間は手続きをした日から2週間です。
●返却日を過ぎていたり、予

映画会のお知らせ

12月の映画は、『アルジャーノンに花束を』です。映画会は入場無料。整理券なしでどなたでもご覧いただけます。お気軽にお越しください。

■日時 12月4日(日) 14:30～16:30
■場所 視聴覚ホール
■監督 ダニエル・キイス
■原案 グラヴィット・デルリユ
■出演 ジュリアン・ポワソリエほか

■内容
SF小説の名作を映像化した感動渦巻くストーリー。授業実験により知的障害から一転、天才の領域に足を踏み入れた主人公を、孤独と過去が苛むようになってゆく。人々の涙を今なお誘い続ける世界をお楽しみください。

FM島田(76.5MHz)「昼どき！聴きドキ！情報キャッチ」で毎月第一木曜13時ごろに「吉田町立図書館のお知らせ」を放送中。

11月 図書館休館日のお知らせ							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5				1	2	3	
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

開館時間10:00～18:00(毎週木曜日は19:00まで)
*●のついた日が休館日

C O O K I N G

学校給食メニュー

M E N U Vol. 68



キャラメルポテト

キャラメルポテトは、サツマイモをキャラメル形に切ったおやつです。とても簡単にできますから、ぜひお子さんと一緒に作ってみてください。

- 材料(4人分)
 サツマイモ..... 300g 白すりごま..... 小さじ1
 バター..... 大さじ1 揚げ油
 グラニュー糖..... 大さじ1
- 作り方
 ①さつま芋は1.5cm角に切る。
 ②①を中温の油で揚げて、熱いうちにバターとグラニュー糖をまぶす。

広報はいだん 霜月

綱焼の尾がかりかりと冬に入る
まひるまの風の色無く蝶青し
猫塚におもちやの金魚赤まんま
コスモスの風になぶられ鎌を研ぐ
道化師の化粧上手や天高し
石花海の灯台低し宗太釣る
放課後の校長松の手入れかな
蜻蛉や反魂丹の大暖簾
山木 三雪
秋天を銜えて伸びるシャベルカー
赤の目を振り向く故郷釣瓶落し
中村 禮子
記念樹の本厚七き子の年数へ
早川 和子
傾ける小さき墓石や昼らちろ
久保田房子
睡魔来る午後の講義や竹の春
柴原 昌代
髪結びてうなじの知りし秋の風
原田紀美子
御神燈空澄む軒につるしけり
高橋 陽代
彼岸花一気燃え尽き症候群
若堀甫有子
刈られたる曼珠沙華より火の匂ひ
廣田みさ江
ポケットに小銭の音や秋祭り
畑 絹枝
坂井 爪紅

人の動き

平成23年10月31日現在
 ●総人口30,547人●
 住民基本台帳 人口 29,571人
 (前月比-17人)
 男 14,817人 女 14,754人
 世帯数 9,835戸(前月比+3戸)
 組数 541組(前月比±0組)
 出生 25 死亡 28
 転入 33 転出 47
 外国人登録 人口 976人
 男 479人 女 497人

ご逝去お悔やみ申し上げます

地区	氏名	世帯主
住吉	田中 清	はつ
柳原	恭一	本
三輪	七郎	賢
坂本	正美	本
久米	實	人
野中	すす	成
増田	ふき	光
川尻	久保田	利
大石	とし江	増
久保田	忠	本
杉本	和	美
大石	勇	治
中村	八郎	美
松浦	きた	清
長田	春枝	文
良知	りと	隆

*10月1日～31日までにご家族の承諾を得た人のみ掲載しています。

11月の納税 あなたの税金が町をつくれます

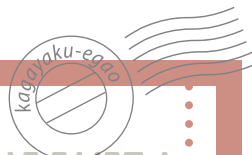
納税は口座振替が便利です
 国民健康保険 第5期 納期限 11月30日(水)までに納めてください
 問い合わせ 税務課 収納管理部門 ☎33-2109

催し物のご案内

◎交流ストリート ●11月16日(水)～30日(水) 北区いきいきセンター展示(2階) ●12月1日(木)～12日(月) 人権ポスター展(1、2階) ●12月13日(火)～27日(火) トールペイント展(1、2階)	◎2階おはなし室 ●おはなし会 (0～2歳向け) 11月16日(水) 11:00～ 12月7日(水) 11:00～ (3歳～小学生向け) 11月19日(土) 14:30～ 12月3日(土) 14:30～	◎リサイクル雑誌の配布 日時 11月16日(水) 10:00～ 場所 一般図書フロア カウンター前 配布雑誌 2010年10月号 対象 町民 1人5冊まで ※お名前とご住所を記入していただきます。
---	--	--

◎ワークルूम
●11月12日(土)、12月10日(土)15:30～
図書館文学講座

問い合わせ 図書館 ☎33-3434 URL <http://www.lib.yoshida.shizuoka.jp/>
 ☎33-2300 携帯電話からは<http://www.lib.yoshida.shizuoka.jp/mobile/>



YOSHIDA

11月生まれ

かがやく笑顔



Happy Birthday

ハッピーバースデー



なか ね くれ は
中根紅葉ちゃん
(3歳・川尻)

♥くーちゃん♥おめでとう♥
これからも大好きなダンスや
歌をいっぱい披露してね★



た じ ま み つ き
田島光樹くん
(1歳・川尻)

♡♡お誕生日おめでとう♡♡
家族のアイドルみつきー☆☆
元気いっぱい大きくなあれ。



おお い し あ こ
大石彩瑚ちゃん
(2歳・住吉)

いっぱい食べて、いっぱい遊
んで大きくな〜れ。♥Hap
py Birthday♥あこ



にの み や り ん か
二宮倫香ちゃん
(1歳・神戸)

いつもニコニコ笑顔
いたずら好きな倫香☆
誕生日おめでとう♡



は し も と し ゅ ん
橋本隼くん
(2歳・神戸)

食べること、イタズラ、お兄
ちゃん大好きな隼♡これから
も皆をHAPPYにしてね☆



い け だ あ き な
池田明奈ちゃん
(1歳・住吉)

いつも明るく元気な笑顔をふ
りまいてくれてありがとう！
家族みんなとても幸せです。

**お子さんの
かわいい笑顔募集！**
12月号の対象者

▶町内在住で12月に1歳～3歳(平成20・21・22年の各12月生まれ)の誕生日を
迎えるお子さんを6人募集します。なお、応募者多数の場合は抽選となります。
※抽選の結果は、当選した人のみにこちらから詳細な書類を送付します。
応募期限 11月21日(月) 17:00まで
応募・問い合わせ 総務課 秘書広報部門 ☎33-2131

Editor's note

編
集
後
記

本号では消防団を特集しました▼団員に「なぜ入団したのか」と聞くと、返ってきた答えは「親父も入っていたので何となく」。また息子に消防団のことを相談されたOB団員は「自分で決めろ」と答えたそうです。その息子は現在、消防団員としてがんばっています▼今回の取材で「親父の強制」という形で消防団に入団した人はいませんでした。また、現在の消防団の中で父親も団員だった人が多いことを知りました▼よく「子供は親父の背中を見て育つ」と言われていますが、そのことを改めて実感した取材となりました▼私自身二児の父親。私の背中、子供の目にどのように映っているのか。聞くようなことではないが、気になります。子供は親父の背中を見ないようでしたっけと見えています。これからは、もっと自分の背中に責任をもつていきたいと思えます。

総務課 秘書広報部門 岩下聡